

「旋風（せんぷう）」の命名についてのアンケート

気象庁予報課では、下記の理由により強い温帯低気圧に「旋風（せんぷう）」という名前を付けて、予報、情報などに用いたい意向をもっており、先般、気象学会理事会对して、これについての意見を求めてきました。理事会は、原則的には、この措置に賛成の態度を決めました。が、今後、長年月にわたって国民生活に関する用語でありますので、広く学会員から意見を求めることにしました。意見のある方は3月末日までに理事会宛に意見を寄せられることを望みます。

強い温帯低気圧を「旋風（せんぷう）」とする趣旨

(1) つぎの理由により、強い温帯低気圧に特別の呼び名をつけることが望ましい。

現在、熱帯低気圧は、その強さによって、和文では「弱い熱帯低気圧」「台風」、英文では「tropical depression」「tropical storm」「severe tropical storm」「typhoon」というように、その呼称をかえることになっている。そして、人びとは「台風」という呼び名から、強いアランを連想するから、このことは、熱帯低気圧に対する防災上の関心を高めるのに役立っている。ところが、温帯低気圧は、大型台風なみに発達しても、特別の呼び名がないため、「台風」のように人びとの注意を惹かないことがある。これは防災の見地から、好ましくない。また、札幌管区気象台、函館海洋気象台からも、一般の防災上の関心を高めるために、強い温帯低気圧に、台風と匹敵する名前をつけてほしいむねの要望がきている。

(2) つぎの理由により、強い温帯低気圧の呼び名としては「旋風（せんぷう）」が適当である。

戦前かなり長期間にわたって熱帯低気圧の「颱風」と同じように、温帯低気圧を「颶風」と呼んでいたことがある。戦後は、「颶」の字が当用漢字にないため、「旋」の字を当てるようになった。たとえば、昭和26年2月に日本付近を通過した強い温帯低気圧に関する異常気象報告（中央気象台発行）の表題は「旋風概報」となっている。またNHK編「気象用語集」（昭和39年10月発行）には、「旋風」を「強い低気圧」に読みかえ、「大陸旋風」を放送用語として採用している。

これまで「旋風」はwhirl windの意味に用いられてきたが、これは「つむじ風」と呼ぶのが適当である。気象観測法では、dust devil (dust whirl) は「じん旋風」と呼ばれているが、単独の「旋風」の用語はない。桜庭信一編著「気象学用語事典」でも同様である。

(3) 最大風速48ノット（風力10）以上の温帯低気圧を旋風としたい。

表に示すように、風力8以上の熱帯低気圧を台風と呼んでいるが、温帯低気圧の場合には、風力10以上を旋風と呼ぶのがよいと考えられる。ほとんどの温帯低気圧は、域内の風力が8程度になるから、これを旋風と呼んだのでは、旋風の数が多くなりすぎ、かえって、この言葉のもつ防災上の意義をうすめてしまう。台風との形式的対応を考えずに、実用上の利点をとった方がよい。海上警報では、風力8・9の低気圧については「強風警報」、風力10以上のものには「暴風警報」を出す。旋風は暴風警報相当の低気圧に対して使うのが適当である。

熱帯低気圧 (tropical cyclone)		温帯低気圧 (extratropical cyclone)	
和 文	英 文	和 文	英 文
弱い熱帯低気圧 (風力7以下, 34ノット未満)	tropical depression (風力7以下, 34ノット未満)	低 気 圧 (風力9以下, 48ノット未満)	Low (同 左)
台 風 (風力8以上, 34ノット以上)	tropical storm (風力8, 9. 34ノット以上 48ノット未満)		旋 風 (風力10以上, 48ノット以上)
	severe tropical storm (風力10, 11. 48ノット以上 64ノット未満)		
	typhoon (風力12. 64ノット以上)		

参考資料

(1) 颶風の解義(藤原咲平, 防災科学, 風災より) 颶風と言ふのは使い出してからもうかれこれ二十年にもなる言葉であるが, はっきりと世間の常識になるまでには到らない。これは大陸低気圧というてもよろしいが少し長すぎるのを嫌って及び風系である事を示し度いために颶風を用いる。本は支那人が作った名で上海の近くにある徐家匯気象台のフロック台長が使い始めたと言ふ。この字を日本に採用したのは今の岡田中央気象台長である。在来つむじ風の類に対して旋風といふ字が用ゐられて居ったが英語のサイクロンの訳語に一部の人は昔からある旋風の字を用ゐる, 同じ言葉で二様の別な現象を現すことになり混雑して不便であったから, それを避けるためにサイクロンの意味の時に颶風を用い, 昔からの旋風は普通の用法を保存することにしたのである。

(2) 平凡社大百科事典より

旋風《つむじ風》または《つじ風》ともいう。……(一部省略) ……以前は温帯低気圧を颶風, 上述のものを旋風

と書いて区別していたが, 漢字制限のために颶風を旋風と書かれることもある。(正野重方)

(3) 新村 出「広辞苑」より

旋風① 小規模な空気の旋回運動。半径数十メートル以下。竜巻の弱いもの。つむじ風。つじ風。

② 突発的に社会に動揺を与える事件をたとえていう語

颶風 温・寒帯地方に発生する低気圧系の旋回風。北半球では右旋, 南半球では左旋。颶風より大きく, 直径二千キロメートルに及ぶものがある。アジア大陸に発生して我国に襲来するものは冬は裏日本に雪を降らせ, 初夏には梅雨を起す。

(4) NHK 編「気象用語集」より

大陸旋風 冬や春さきに大陸から東進してきて北日本付近で急激に発達した低気圧をいう。広い範囲にわたって暴風雨を起すから船乗りは特に注意する必要がある。

旋風 強い低気圧といいかえる。

理 事 会 便 り

第 21 回 (13 期) 常任理事会議事録

日 時: 昭和41年2月10日(木) 16.00~19.00

場 所: 気象学会事務局

出席者: 島山, 正野, 北岡, 神山, 岸保, 桜庭, 今井, 大田, 吉野, 須田, 増田各理事(順序不同)

議 決:

1. 第14期選挙管理委員の依頼について
理事長と相談して決め, 次回に報告する。
2. 地球物理研究連絡委員の委員交替について,
 - イ. 気象分科会委員について
理事会としては, 孫野, 山本(義), 正野, 磯野, 山本(竜), 沢田, 神山, 岸保, 荒川, 北岡の10会員を推薦候補者とし, 全理事の投票によって決める。
 - ロ. 陸水分科会委員として磯野会員を推薦する。
 - ハ. 気象分科会委員に欠員が生じた場合は改めて推薦し投票によって決める。
3. 故阿部会員の追悼文
高橋(喜)会員に天気むけの原稿を依頼し, それをもとに集誌だけの原稿を作り, 天気, 集誌に掲載する。
4. 春季総会の議題
 - イ. 郵便料値上げなどに伴う定款改正については, 資料を出して次回で検討する。

ロ. 国際大気および空間電気学会の主催の承認を求める件も, 共催関係の事情などを確かめ次回で決定する。

ハ. シンポジウムは大気物理研究所のあり方とし, 細部は講演企画と東大で決める。

ニ. 報告に学術会議の報告を加える。

ホ. 次期の当番支部は庶務関係で前もって打合せておく。

5. その他

イ. 学会役員の立候補しめきりを4月5日とし, 投票しめきりを5月19日とする。

ロ. 地方理事に総会提出議題を出してもらおうよう, 依頼状を出す。

ハ. 「せん風」について

気象庁予報課より発達した低気圧で最大風速48ノット以上のものに「せん風」という名前をつけたいという提案があったが, その定義, 外国語の表現などで意見があるので, 一応の案を天気へのせ, 会員の意見をきいて決めることにする。

ニ. 朝日学術奨励金について

名古屋大学の磯野会員の研究グループを推せんしたい。